

# 高度治療室 (High care unit: HCU)

## 1. 看護単位の概要

病床数 20床 (ハイケアユニット入院医療管理料 1)

## 2. 病棟の特徴

中病棟3階に位置し、中病棟4階ICUとは病棟内の螺旋階段で繋がっている。上下階を職員が行き来しやすく、ICU-HCU間の連携の良い環境となっている。

主に「肝胆膵・移植外科」「脳神経外科」「循環器内科」「心臓血管外科」「呼吸器外科」「消化管外科」「産科・婦人科」「泌尿器科」等の外科手術後、血管内治療後の回復期病棟として、また院内急変の中等症患者、及びICUでの集中治療や急性期を脱し、HCUへ引継いだ重症患者（肝臓や肺の臓器移植後も含む）の診療・クリティカルケアを担い、一般病棟とICUとの間に位置する役割を担う。

入室経路は「一般病棟から」「ICUから」などで、主に院内発生事例に対応するが、院外からの手術適応のある患者等の受け入れも行っている。

周術期の全身状態が不安定な患者やハイリスクな合併症を有する患者、急性疾患や慢性疾患の急性増悪によって生命が脅かされている患者、突発的な出来事による急変患者、様々な要因で循環動態や呼吸状態が不安定な患者が入室する。受け入れた急性期、重症患者の病態がいち早く安定化するよう観察・ケアに努め、意識障害やせん妄、鎮静等でコミュニケーションが困難な患者のニーズを汲みながら看護を行っている。その回復過程で安静度を拡大し、一般病棟での治療・看護ができる状態までの回復を目指し看護を実践している。重症患者から回復期まで重症度の幅が広いことがHCU看護の特徴であり、多様な病期の患者・家族を支えている。看護師、医師や薬剤師のほか理学・作業・言語療法士、栄養士、臨床工学技士、メディカルソーシャルワーカー、診療放射線技師など常に多職種で連携し協働している。ユニットにおける終末期ケアと緩和ケアについても患者・家族と倫理的な葛藤を共有し、意思決定支援を行い、患者が生活基盤である地域に帰ることを目指して切れ目のない看護に取り組んでいる。